別紙

増圧給水施設管理業務実施仕様書 （増圧直結方式）

【業務の履行場所】福岡市南区長住五丁目7番1号　長住宿舎

1．一般事項

1-1　適用の範囲

この実施要領は、増圧直結給水方式の増圧給水設備の維持管理を行うものに適用する。

1-2　維持管理の方法

施設管理は、本実施要領の定めによるほか、水道法、電気設備に関する技術基準を定める省令、その他関係法令、地方公共団体が定める条例並びに機器取扱説明書等により実施するものとする。

施設要員による施設管理は巡回管理を基本とし、次により実施する。

巡回は、年4回以上とし、主任技術者にあっては、年1回以上巡回し、施設の総合管理を行い、1級技術者にあっては、年3回以上巡回し、施設管理を行うものとする。

また、巡回は原則として、電気・機械をもって巡回班とするものとする。

2．業務内容

2-1　維持管理

別表「増圧給水設備点検項目表」のとおりとする。

2-2　緊急事故の処理

給水施設維持管理要員は、予想される緊急事故に備えて、その対応処置を検討しておくとともに緊急事故の発生に際しては、速やかに適切な処置を講じ、経理チーム に報告するものとする。

3．施設管理車両及び工具等の配備

業務実施に必要な施設管理車両及び工具等を配備するものとする。

4．巡回計画書の作成

業務の実施にあたっては、巡回計画書を作成し、経理チームに提出するものとする。

5．管理実施結果等

5-1　管理日報

管理結果等については、別表2「増圧給水設備管理日報」により記録、保管し、翌月10日までに経理チームに提出するものとする。

5-2　報告結果の検査・指導

5-1により報告した後、当該報告に係る業務の検査または必要な指導を経理チームから受けるものとする。

5-3　修理改善

緊急を要しない修理改善については、修理日報と同時に修理改善要望書を経理チームに提出するものとする。

6．その他

6-1　健康診断（検便検査）

施設要員は水道法の定めにより定期に健康診断を行い、その結果を経理チームに報告する。

6-2　清潔の維持

施設内は、常に清掃を施し、清潔を保持する。

6-3　整理整頓

常備器材等は常に手入れをし、使用に便利な場所に整理整頓する。

6-4　安全

施設内には、維持管理要員以外の立ち入りを防ぐため、施錠する。

6-5　衛生

作業時の服装は、清潔の保持に留意する。

7、暴力団員等による不当介入を受けた場合の措置について

1） 業務の履行に際して、暴力団等による不当要求又は業務妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかにその内容を記載した文書により機構まで報告すること。

2） 上記1）により警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかにその内容を記載した文書により機構まで報告すること。

3） 暴力団員等による不当介入を受けたことにより等業務に遅れを生じる等の被害が生じた場合は、機構と協議を行うこと。

※追記

仕様書 1. 一般事項 1－2記載の資格者要件について

ア） 主任技術者

（機械）

以下のいずれかの資格を有し、実務経験10年以上

・建築物環境衛生管理技術者

・給水装置工事主任技術者

（電気）

以下のいずれかの資格を有し、実務経験10年以上

・第1級電気工事施工管理技士

・電気主任技術者

イ）技術者

以下のいずれかの資格を有する者

・建築物環境衛生管理技術者

・建築設備検査資格者

・管工事施工管理技士

・第1・2種電気工事士

*但し、電気工事士法に係る作業については、第1・2種電気工事士の資格者のみとする。

直結増圧給水施設　維持管理表(施設名称：　　)

別表-1

項目		点検内容		1年点検	3ヶ月点検	チェック欄
量水器（親ﾒｰﾀｰ）	外観	目視	量水器及び量水器ボックス周辺の漏水確認		●	
		目視	量水器及び量水器ボックスの異常の有無を確認		●	
		目視	使用水量は点検の都度記録し使用水量の変動確認		●	
ユニット部	逆流防止弁	目視	漏水確認		●	
		差圧試験	動作確認（逆流の有無）	●		
		目視	逃し弁からの漏水確認		●	
	ストレーナ		水漏れ等の有無の確認		●	
			分解清掃	●		
	仕切弁	目視	漏水確認		●	
	ドレン配管	目視	詰まり等の有無の確認		●	
	圧力タンク	目視	水漏れ、損傷等の有無の確認		●	
	圧力センサ		動作確認		●	
	外観	目視	腐食・損傷・水漏れ等の有無の確認		●	
配管及び弁類	配管・接続部	目視	漏水、腐食、損傷、剥離、結露等の有無の確認		●	
	保温材	目視	損傷、剥離の有無の確認		●	
	フレキ	目視	漏水、腐食、損傷、剥離、結露等の有無の確認		●	
	逆止弁・仕切弁	目視	漏水、腐食、剥離、結露等の有無の確認		●	
	支持金物	目視	損傷、剥離、腐食の有無の確認		●	
		目視	支持金物・伸縮管・配管等の異常の有無の確認		●	
	架台	目視	損傷、変形等異常の有無の確認		●	
ポンプ類	軸封部	目視	メカニカルシールからの漏水確認		●	
	軸受部	目視	作動状態及び異常音の有無の確認		●	
	発熱	目視	発熱等異常の有無の確認		●	
	振動・発熱	目視	振動及び発熱等の異常の有無の確認		●	
	外観	目視	腐食・損傷、塗装剥離等の有無の確認		●	
制御装置	アースの接続		アースの接続状態の確認	●		
	インバータ	目視	異常音、発熱の有無の確認		●	
	コントローラ		吐出圧力センサー異常の確認バックアップ運転確認		●	
			起動回数の確認		●	
	デジタル表示器	目視	表示確認		●	
	端子台		ハーモニカ端子に緩み等の有無の確認	●		
	外観	目視	腐食・損傷・塗装剥離等の有無の確認		●	
運転状況・調整	絶縁抵抗		メガテスターで絶縁（1MΩ以上）の確認（モーター部分に限る）	●		
警報機器	発報確認		年3回通報テストを実施		●	
	外観	目視	剥離、結露、損傷、腐食の有無の確認		●	
盤関係の点検調整		目視	表示灯の点検調整及び取替		●	
		目視	計器指針の適否及び記録		●	
	照明設備	照明設備がある場合	点灯確認		●	
			清掃		●	

給 水 施 設 管 理 日 報

別表-2

○○株式会社

担	当	

施設名:　　給水種別:　　給水方式:

点検日:　　室温:　　℃　　天候:

低圧受電盤	V	A									
種目 / 項目	動力（kWh）			電灯（kWh）	量水器（m³）			記録計送水量（m³）	場内水道使用量（m³）	流入量(m³/min)	
	上水	工水	中水		上水	工水	中水			上水	工水
今回指針											
前回指針											
差（×倍率）	（×1）			（×1）	（×1）				（×1）		
使用量											
一日当り											

エンジン	起動状況良否確認	エンジンオイル	冷却系統	3時間負荷運転可能燃料	直流電源	端子電圧	充電電圧	充電電流	均等充電	バッテリー液量
				ガソリン・軽油（有・無）		V	V	A		

	給水階数	上水設定圧	工水設定圧	上水流量	工水流量
直送制御盤(低層)	階	No. kg/cm²	No. kg/cm²	No. m³/h	No. m³/h
直送制御盤(高層)	階	No. kg/cm²	No. kg/cm²	No. m³/h	No. m³/h
直送制御盤(超高層)	階	No. kg/cm²	No. kg/cm²	No. m³/h	No. m³/h

圧力タンク給水方式	容器本体の発錆・腐食等の有無	蓋・配管・弁等の緩み、水漏れ	圧力スイッチの設定及び始動頻度	封入気体の状況、空気溜りの状況
ウオータエース				

機器名	機器No.	電流 A	圧力 kg/cm²	回転数 rpm	周波数 Hz	機器名	機器No.	電流 A	圧力 kg/cm²	回転数 rpm	周波数 Hz
上水ポンプ	No.1					排水ポンプ	No.1				
〃	No.2					〃	No.2				
						湧水ポンプ	No.1				
						〃	No.2				

水質測定場所	濁り	色	味	臭気	残留塩素	pH	消毒薬使用量	消毒薬残量
圧力計分岐管			なし	なし	mg/l		No. リットル	No. リットル
					mg/l		No. リットル	No. リットル

ポンプ運転状況(音・振動・電流計の指示・吐出・油漏れ等)		電磁接触器・補助リレー・タイマーの作動状況	
グランドパッキン・カップリングの磨耗等		水位制御機器の発錆・損傷等の状況	
フート弁の作動状況		圧力伝送器・液量計および記録計等の指示値や設定値	
配管・弁類からの漏水及び腐食の状況		滅菌用ポンプの運転状況	
定水位弁・電磁弁等の作動状況		警報及び通報装置鳴動試験	
貯水槽内の汚れ・発藻等及び槽外からの汚染の浸入状況		施設内の整理整頓及び衛生管理の状態	
オーバーフロー管・通気管等の防虫網の状態		マンホールの施錠	
電磁継手方式の圧力スイッチ・フローリレーの作動状況		施設扉の施錠・フェンスの破損・立入禁止等の表示類の状態	
インバータ方式の冷却ファンの音・振動等・エアフィルターの状態		窓・扉・照明機器等の異常,工具・予備品の整理	

《特記事項》

終業点検：スイッチの位置 レ・マンホール レ・警報 レ・ガスの元栓◇・火の元◇・水道の元栓 レ・電灯の消灯 レ・施設扉の施錠 レ

①不必要個所は、斜線を引くこと。②不良の場合は、特記事項に記入すること。③濁り・色・味・臭気については異常の有無を記入し、異常のときは、特記事項に記入すること。